

# みやざきミライ史

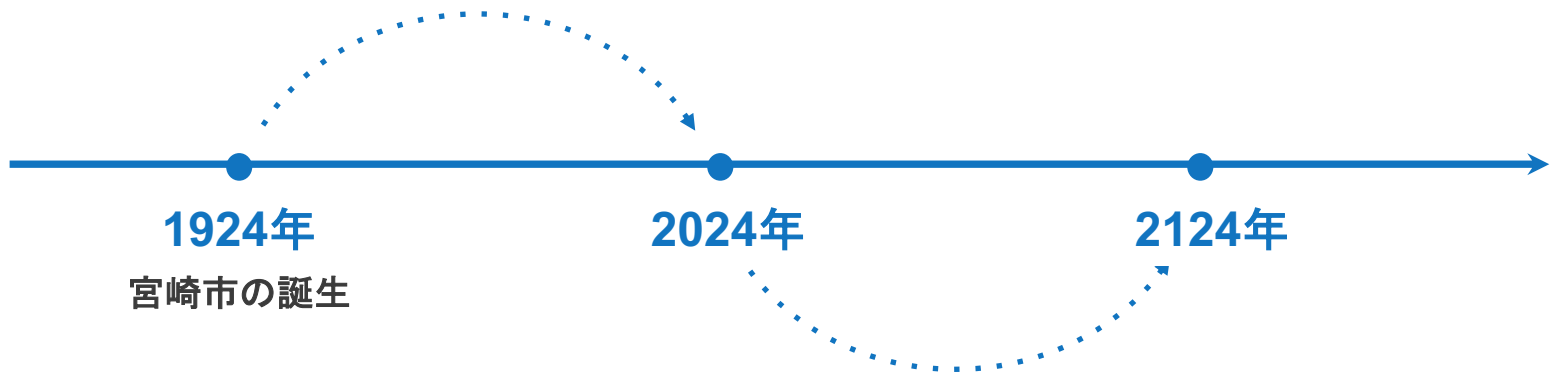
Miyazaki Future History 2024 - 2124

## 宮崎市のこれまでの100年と現在をつなぎ、 “100年後の宮崎市”を考えるプログラム

これまでの100年で  
培われてきた  
わたしたちの文化・生活に  
根付いた価値を見出す



次の100年で  
「こんな光景を残したい」  
「こんなものがあってほしい」



## 8月1週目から8回のワークショップ

### 3回のイベント出店・発表

#### ワークショップでやったこと

マップづくり

年表づくり

フィールドワーク/  
街なか&生目遊古館

ミライ想像ワーク

宮崎で活躍するひとたちへ  
インタビュー

イベント出展・発表の企画

#### イベント出店・発表

8月 | 街市 (若草通り・一番街)

10月 | 宮崎市制100周年記念式典

11月 | SMILE MIYAZAKI 100年祭

市内の学校に通う高校生・大学生・大学院生の混合チームで実施

活動を行った6つのチームが  
取り組みの発表を行います

活動内容と  
得られた経験

100年のミライ  
どんな宮崎市で  
あってほしい

ミライを実現するため  
5-10年後にあるべき  
アクション



会場入口でお配りした  
こちらの紙のQRコードから  
各グループの取り組みの詳細を  
Webで読むことが可能です

宮崎市 市制 100 周年記念 若者ミライ提言事業

みやざきミライ史

Miyazaki Future History 2024 - 2124

地域を掘り下げ 魅力を再発見！

新しく見えてきた  
「みやざきのミライ」  
とは？？



ミライを支える宮崎市内の学生 30  
名による半年間の集大成を note に  
まとめました。



それでは、これよりプレゼンテーションを始めます  
どうぞ、よろしくお願いいたします



## た～らたらチーム

桐原 千宙

宮崎県立看護大学大学院

井上 莉子

宮崎公立大学

池田 一花

県立宮崎大宮高等学校

大山 泉羽

県立宮崎大宮高等学校

久木田 優花

県立宮崎北高等学校

坂本 雪乃

県立宮崎西高等学校

## グループの問い

---

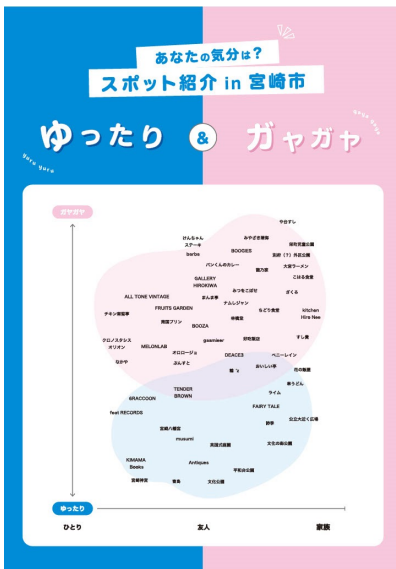
観光客は知らない、  
地元の人だけが知る場所や楽しみ方を通じて、  
宮崎に暮らす私たちが、  
どうすればもっと宮崎市を楽しみ尽くせるか？

\_\_\_\_\_

4.66 田代詞人詩集

10月22日 「大制100円と100円と100円」

街市で様々なスポットを聞き取った体験から、気分（ゆったり / がやがや）と人数（ひとり / 友人 又は 恋人 / 家族）でスポットを分けたローカルガイドを作成





宮崎に住む人が気分で宮崎市を楽しむことができるための助けとなるように、ランチ・cafe・麺類・古着・自然の5つのテーマでzine(本)を作成して配布。



## 実践を経て感じたこと

---

- 自分たちもガイド・ZINEをつくるために街を**実際に歩いてみて、初めて知った場所**があった
- ガイド・ZINEを街の人に渡したときに、  
「こんな店あるんだ！」と言われ、**誰かの発見に繋がったと実感**
- 友達「市内にはカフェないよね」自分「**いやいっぱいあるよ！**」
- 「宮崎外から来てる自分は知っているのに、**地元に住んでいても知らない**」

100年後、こんな宮崎市であってほしい

---

# 自分たちの暮らす街に誇りを持ち、 その良さを外に伝えたい魅力あふれる宮崎市

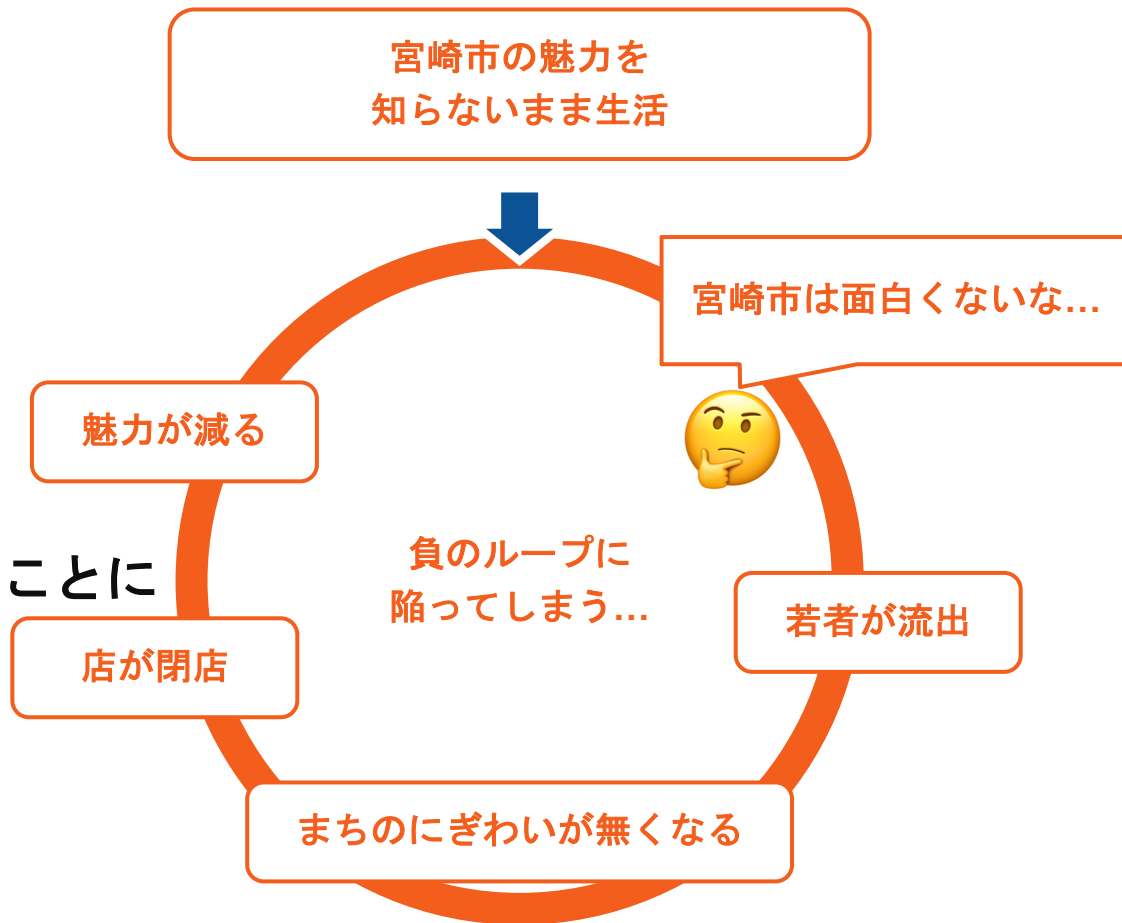
こんな光景・経験・価値が、100年後の宮崎市にも残っていてほしい

- 人それぞれの楽しみ方が存在する幅広いお店
- 宮崎市でしか感じられない楽しみ方ができるお店、景色
- 気分によって気軽に足を運べる場所



## 未来を阻害する現在の要因

宮崎市の魅力を  
知らないまま暮らすことで  
結果的に若者の流出と  
まちのにぎわいが無くなることに  
つながる



そのために近い未来（5～10年後）にあるべきもの

---

## 地元人の、地元人による、 地元人のためのローカルサイトをつくる ✨

自分たちによって宮崎市の魅力の発見ができ、

- ・ より宮崎市を楽しむことができる
- ・ この街にいたいと思う、宮崎市に関わりたいと思える

→若者が留まる、増える。まちなかの賑わいが生まれる。

最後に🌟

---

宮崎市は何もない街じゃない！  
魅力のある場所を知って欲しい！  
宮崎市を楽しみ尽くそう！

## 提言事業 ポスターセッション



## みんなのランド

酒匂 華音

宮崎公立大学

井本 朱音

宮崎県立看護大学

三宮 歩果

宮崎県立看護大学

青柳 みのり

宮崎県立看護大学大学院

田中 美羽

宮崎県立看護大学大学院

宮崎の人って優しい人柄が良いところ



人柄を活かして、

地域の繋がりを活性出来るのでは？

地域の繋がりの場とは？

地域の人とうちわ作り、折り紙、トランプなどで交流



## グループの問い

---

ひとりひとりの「好き」や「興味」などをきっかけとした

繋がりの場があれば、

様々な人が自然と楽しく繋がれるのでは？



好きなことで集まって話す「みんなのランド」を実施！



## ジブリやチョコをテーマに、イベントに来ていた人と交流した



「SMILE MIYAZAKI 100年祭」で行った「みんなのランド」では、

- ジブリ好きな人が自ら**ものまね**を交えて楽しそうに話してくれた
- **自主的に**資料を作成して持ち寄り、好きなチョコの作り方について語る方がいた



好きな事に対して人は**主体的**になるため、  
自然と会話が盛り上がることがわかった！



好きな気持の共有ができて、自分たちも楽しい経験ができた！

100年後、こんな宮崎市であってほしい

---

様々な人との多様な繋がりがあるなか、  
お互いを気にかけて、支え合い、  
一人ひとりが笑顔で生き活きと生活している宮崎市

例えばこんな光景

例えば...

- ・ 公園で散歩する高齢者やランニングする会社員、遊びに来ている子どもたちが笑顔で会話
- ・ ひとり身高齢者の自宅に遊びに行き、安否確認と会話を楽しむ光景

## 未来を阻害する現在の要因

---

このままだと、人との交流が減り、  
繋がりが無くなってしまうのではない  
か



繋がりが無い状態に陥ると、  
困っている人の孤立化が進んでしま  
い、  
様々な問題が生じてしまう

## 社会課題の大きなトレンド

地域コミュニティ形成・強化

地域高齢化対応（認知症・孤立等）

防災対策（互助の強化）

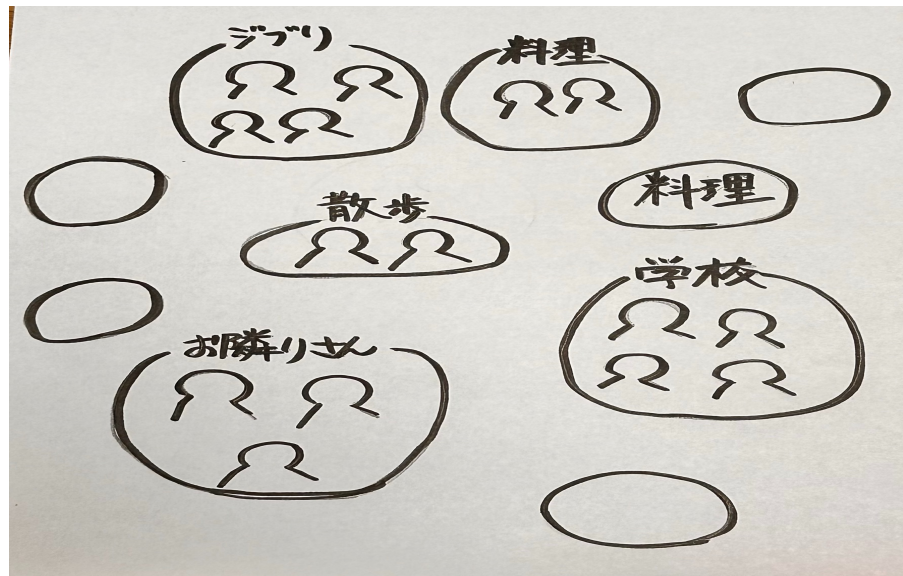
まちなかのにぎわい創出

誰もが住み続けられるまち（生きがい）

そのために近い未来（5～10年後）にあるべきもの

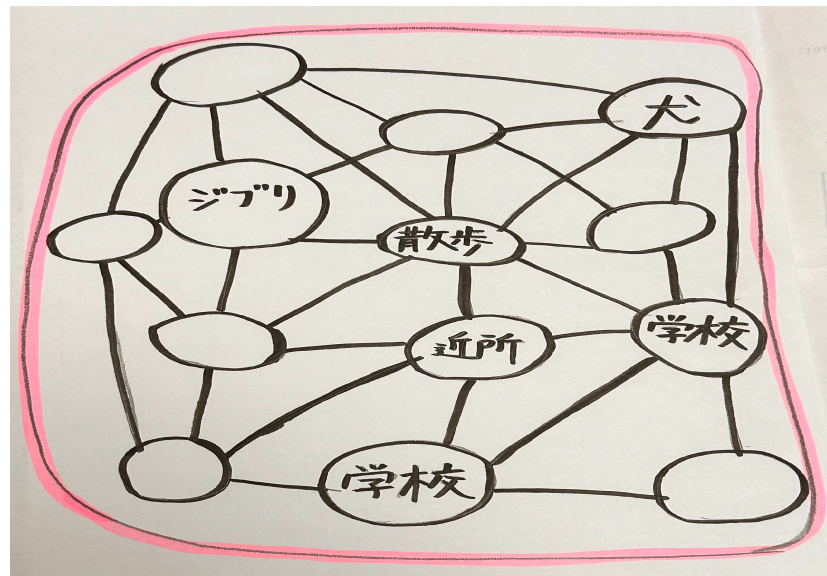
5-10年後

小さな繋がり



その結果...

大きな繋がり



最後に🌟

---

地域に関わる専門職・社会人として、  
好きなことで地域の人が繋がるミライを  
内側から創っていきたい





## SMILE ROAD

鵜狩 可奈望

宮崎県立看護大学

元場 碧

宮崎産業経営大学

吉田 聖奈

宮崎産業経営大学

黒木 唯花

宮崎学園高等学校



## 「道」という視点から見る宮崎市の魅力とは どのようなものなのか？

- 宮崎って交通の便が悪いよね～、、でも移動時間楽しめたらいいんじゃない？
- じゃあ、好きな道・わくわくする道・思い出のある道ってどんな道？
- 道に着目することで、ある一定の場所(建物、観光地などの特定の場所)だけではない新たな魅力を見つけれられるのでは？！

## 実践したこと

### 第1回 好きな道とキャッチコピー調査



### 集めた「好きな道」を展示

### 展示・共有（インスタ開設） 第2回 好きな道とキャッチコピー調査



8/26 「街市」

10/26 「市制100周年記念式典」

11/23 「SMILE MIYAZAKI 100年祭」

## 実践を経て感じたこと

---

＼ 陸上のもり ／

陸上を練習してる  
生目のもりが好き！  
10才 女

＼一番いいから一番街！／

一番街が好き  
70歳代 男

＼ 坂道がきつい ／

なつかしい、元通学路  
30歳代 男

たくさんの方々が一人ひとりの思い出や

エピソードを話してくださり

宮崎市に自信と誇り、愛を持っていると感じました



100年後、こんな宮崎市であってほしい

---

## いつまでも“みやざきらしさ”を感じられる宮崎市

“みやざきらしさ”って、、??

宮崎神宮・ワシントンアパーム🌴・青島・楠並木通り・ニシタチ・一番街・南宮崎駅・自然 etc.....

- ・好きな道を聞く中で、共通して話題になるものがあった！  
それらが宮崎を象徴しているのでは？！
- ・宮崎らしさは、宮崎の人々が互いに良さを共感できるもの・風景である！
- ・それは、県外の人にとっても魅力的であると感じるはず！



## 未来を阻害する現在の要因

でも、このままでは“みやざきらしさ”は  
「大都会」をイメージした  
無個性で画一的なものへと  
変わってしまうかもしれない

### 社会課題の大きなトレンド

地方の過疎化

都市開発

景観破壊

そのために近い未来（5～10年後）にあるべきもの

宮崎市ならではの！“みやざきらしさ”・魅力を街の人々で決定し、

宮崎市を守り発展させていく制度！！

その名も、、「宮崎ん魅力はこれやろ！条例」を制定！

制度イメージ・・・

○まちの人々で選ばれた“みやざきらしさ”、宮崎市の  
魅力を登録！

▶人々が何に魅力を感じているのかが明確になる！

○登録されたもののどの部分を守り、またどこに  
手を加えるといいか分かる！！

▶宮崎市らしさと新しいものが共存ができる！

“らしさ”も残しつつ、

発展していくために

新しいものも取り入れ

よりよい宮崎市になる！



そのために近い未来（5～10年後）にあるべきもの

例えばこんなものを登録したい...！

一番街

【らしさ・魅力】  
美味しい居酒屋と  
そこにある笑顔

【新しい考え】  
年中イルミネーション  
でさらに煌びやかに！

【守ってほしい】  
多くの人々が行き  
交うなかで、好き  
な人と七夕の短冊  
を書いた

宮崎神宮参道

【らしさ・魅力】  
荘厳な雰囲気、  
挙式をあげたい

【新しい考え】  
マルシェ等で年中行事  
以外も賑やかに

【守ってほしい】  
ほっとする自然の  
なかでの散歩

最後に🌟

---

“みやざきらしさ”や、宮崎市を愛する人々を  
100年先まで残していきたい

“みやざきらしさ”は、  
その時代、その時を生きる人々に根付く物や風景であり、  
その何かと、宮崎市の人々は切っても切り離せない



## Connection

本田 朋紀

宮崎大学

長澤 亜依

宮崎県立看護大学

久保田 蓮人

県立宮崎西高等学校

山本 百合菜

宮崎学園高等学校

永田 啓樹

宮崎第一高等学校

## グループの問い

---

人口や若者が減っていく未来の宮崎市では、  
どんな街の「盛り上がり」が必要なのか？

## 「宮崎を知ろう！ウォークラリー」を企画



### 企画内容

宮崎市に関わりのある様々な分野の方々をキャストとして呼びびし、参加者と会話を楽しんでもらう



## 実践したこと



子どもたちと将来の夢について話したら  
イベント終了後も話しかけに来てくれた

11月23日 「SMILE MIYAZAKI 100年祭」



宮崎市の将来のことなど、キャストと  
参加者の方々と本音でたくさん語れた

知らない人とでも、話したり、交流をすれば、  
仲良くなれ、盛り上げられる！

面識のない人や初めて会う人と話すことはハードルが高く、難しいと感じることも多いが、  
実際に話してみると思わぬ共通点があったりすることで話が合い、盛り上がるができる



人と人を繋げるような存在（人、場所）が必要である



100年後、こんな宮崎市であってほしい

---

人々の交流が盛んで、結びつきが強く、  
大人が「街を盛り上げなくては」と  
思わなくて済む宮崎市

こんな光景・経験・価値が、100年後の宮崎市にも残っていてほしい

- 普段接することのない人々との会話で、一緒に笑い合える瞬間
- 雑談やふとしたきっかけで話が弾み、思わぬ話題で盛り上がる楽しさ

このままでは自分たちの起こってほしい「盛り上がり」を実現できない。

この状態が続くと



人と人との交流が減る



人々が街に愛着や  
魅力を感じなくなる



更に「盛り上がり」がなくなっていく

社会課題の大きなトレンド

地域行事への参加者の減少

人とのつながりが希薄な社会

世代間交流の減少

そのために近い未来（5～10年後）にあるべきもの

---

大学キャンパスを地域住民や子どもたちにも開放し、  
世代や分野を超えた交流を図るイベントを定期的を開催する

【内容】

大学の講師や地域住民の人々が大学内で体験教室を開く

例：科学実験教室、地元の食材を使った料理教室など

【イベントを行うことで生まれること】

子どもたち→若いうちから様々な人々と関わることの楽しさを感じる事ができる

大人(社会人等)→普段関わることの少ない世代（子どもたちや学生）と関われる



人と人との交流を生むとともに、盛り上がりを実現することができる

最後に🌟

---

人口や若者が減っていく未来の宮崎市では、  
人と人をつなぐための「盛り上がり」が  
必要である



## Sightseeing & Conversation

加藤 舞子

宮崎県立看護大学大学院

木下 天馬

宮崎大学

三浦 李華

宮崎産業経営大学

高橋 宏慈郎

宮崎産業経営大学

後藤 匡葵

県立宮崎南高等学校

観光客が地域の文化や暮らしに深く触れ、  
地域住民にとっても意味ある交流を  
生み出すことができるか？

また、その過程で地域住民自身も新たな発見や楽しみを見出せる、  
双方向の価値ある体験をどのように生み出せるのか？





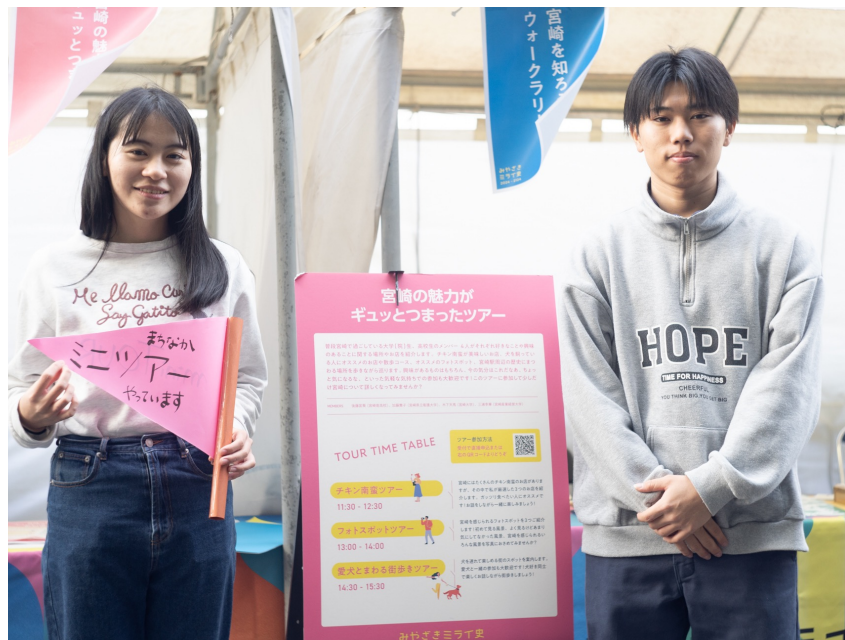
## 企画変更



10月26日「宮崎市制100周年記念式典」  
農業体験×スポーツ「農スポ」を企画

11月23日「SMILE MIYAZAKI 100年祭」  
宮崎の魅力がぎゅっとつまった  
ツアーの企画・実施

## チキン南蛮ツアー / フォトスポットツアー / 愛犬とまわる街歩きツアー / 宮崎市100年の歴史ツアーの企画



## 実践を経て感じたこと

### 愛犬とまわる街歩きツアー

- 参加者と犬以外の話（日常生活など）まで展開した。  
→参加者とコミュニケーションをとる楽しさを実感した。
- お店の方からお話を伺い、参加者と感想を共有した。  
→企画側も知らないことを学べることが分かった。  
→宮崎人の温かさやおおらかな雰囲気を感じた。

### チキン南蛮ツアー

- 企画者じゃないと、詳しいところまで説明できなかった。  
→知っていないと説明できないという難しさを感じた。

100年後、こんな宮崎市であってほしい

---

## 市民と観光客の双方向からのコミュニケーションが 生まれる観光が日常的に行われている宮崎市

こんな光景・経験・価値が、100年後の宮崎市にも残っていてほしい

- 市内外の人たちと隔たりなくコミュニケーションを取る、宮崎人特有の温かさ
- さまざまなきっかけ（価値観）を許容したり面白がる、宮崎のおおらかな雰囲気

## 未来を阻害する現在の要因

---

でも、このままでは  
コミュニケーションが生まれる  
観光を創り出せない

### 社会課題や世の中のトレンド

人口減少に伴う邦人旅行者の減少

若者流出に伴う地域の担い手不足

自己完結型になりやすい観光商品

そのために近い未来（5～10年後）にあるべきもの

---

## ①観光客と市民のコミュニケーションが生まれる 観光のコンテンツをつくる

宮崎市ならではの様々な観光コンテンツをつくる。

ex) 農業体験ツアー、焼酎造り体験ツアー、  
チキン南蛮食べ比べ大会など

## ②観光客が観光したい地域の住民と話せる 観光マッチングサイトを作る

観光客と市民とのきっかけづくりの場をつくり、  
双方が納得できて楽しめる観光商品が作れるのではないか

先行事例：知床ガイド貸し切りツアー

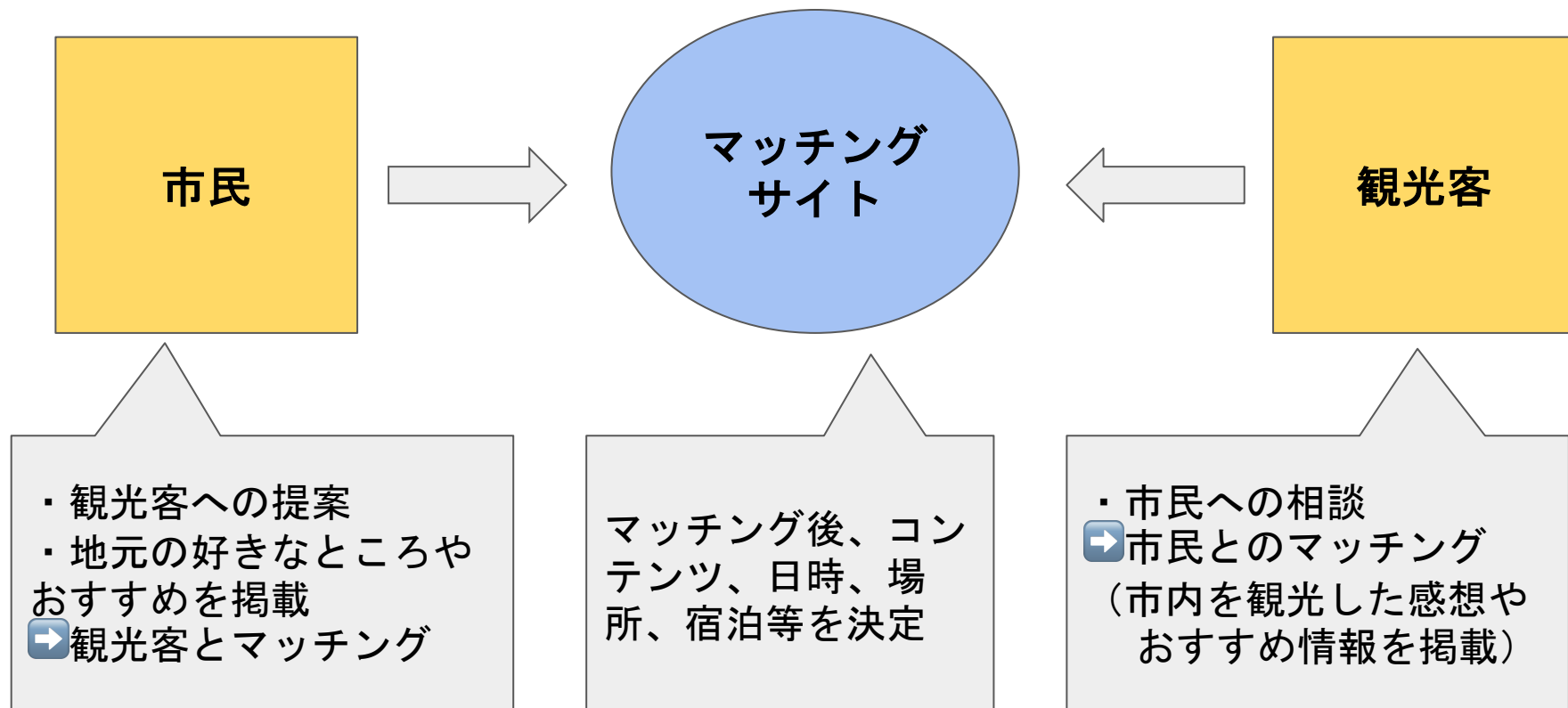
観光客の希望に沿ったプランを立てるオーダーメイドツアー

→地域住民と観光客とのコミュニケーションを通じて、

観光の計画を立てるという点で共通



そのために近い未来（5～10年後）にあるべきもの



最後に🌟

---

市民と観光客の双方向からのコミュニケーションが  
生まれる観光によって、  
両者にとって価値ある交流が生み出される！！



## わしょく

佐多 はるな

宮崎大学

甲斐 虹美

県立宮崎南高等学校

立野 彩夏

県立宮崎西高等学校

高野 舜斗

宮崎第一高等学校

比志島 大晴

県立宮崎西高等学校

宮崎市の日常にある

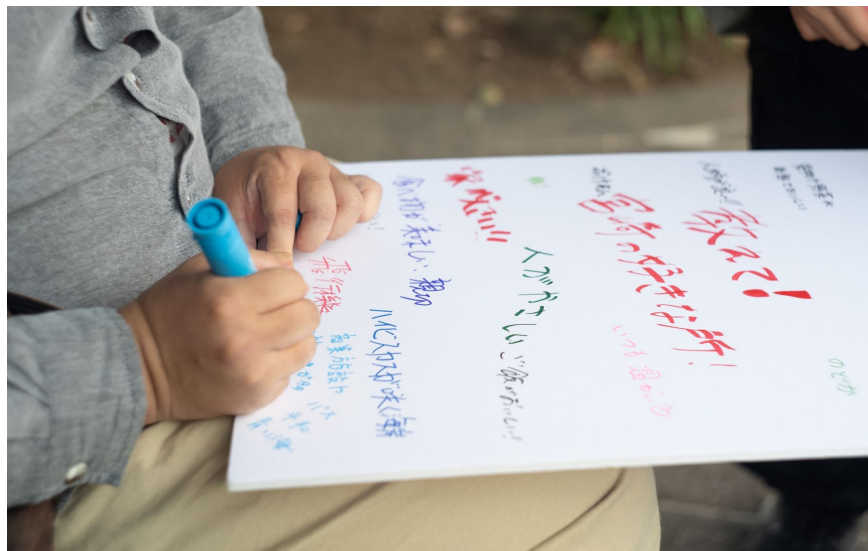
「らしさ」「空気感」を伝えることで、  
宮崎市ならではのよさを見いだしたい！

\_\_\_\_\_

宮崎んこと、感じてみらんね？



## 宮崎市を感じてもらうためのムービーづくり/方言クイズの実施 宮崎市の好きなところを書いてもらう





- 宮崎市の魅力って意外と**身近にあったりする**

例) 下校中は夕陽を見ながら帰り、近所の人から「気を付けて帰らないよ～」と言われる、ポスターのために宮崎市の写真を撮ると、「空」がたくさん

- 世代は違っても、宮崎市の魅力について、**共感できることがたくさんあった**

例) 写真を見せた時に、「この風景どこかで見たことがある」から会話が広がった

- 若い人たちでも、**方言を日常で使っていることが分かった**

例) 方言クイズに参加した小さな子どもが、クイズに答えることができていた



## 宮崎のひとの「あたたかさ」

足をとめてボードに  
宮崎市の好きなところ  
を書いてくれた

「宮崎市のためにあ  
りがとう」「これか  
らの宮崎市を盛り上  
げてね」と、若者を  
期待する応援のメッ  
セージをくれた

たくさんの  
県内外出身の方が  
「宮崎の人は温か  
い」と言っていた

宮崎の人の温かさは気候の暖かさに関係あるのかな...？

## 実践を経て感じたこと

---

食べ物



自然



人の温かさ

他人との関わり



方言



100年後、こんな宮崎市であってほしい

---

宮崎の人の「あたたかさ」に深く関わっている  
方言、気候、自然、食、人との関わりが  
100年後にも残っている宮崎市

- これらの5つの要素が市民にとって共通の話題であり「見えない魅力」
- 街の中心部であっても緑が近い存在
- 登下校中に挨拶し合う関係性

でも、人との関わりが減ると、  
宮崎市を五感で感じ続けてきた  
宮崎市産特有の"あたたかい人格"  
を見失ってしまうかもしれない

### 社会課題の大きなトレンド

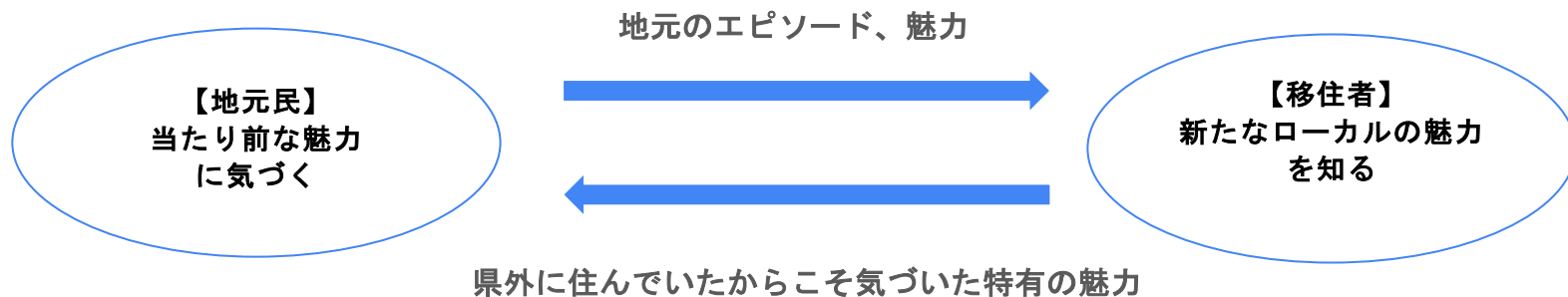
AI化・DX化

都市化

若者流出

そのために近い未来（5～10年後）にあるべきもの

## ～地元民と移住者交流パーティーの開催～



地元民(宮崎市民)は、日常で宮崎の魅力に意外と関わっていることに気づくきっかけに  
まずは、**宮崎市の魅力に誇りを持つことが必要**

そして市外、県外への魅力発信を✨

最後に🌟

---

宮崎市の魅力を伝えるターゲットは宮崎市民  
わたしたち自身が身近な宮崎市の魅力に気づき、  
誇りを持てるように！

最後に...



100年後のミライの宮崎はこうありたい！

## 魅力をみんなで シェアするまち

宮崎市に関わる人たちが  
宮崎市を楽しみ、  
その楽しみを共有することで、  
市内外の人々と楽しみや魅力を  
わかちあえる環境



一人ひとりの

“わたし” がつくる  
“わたしたち” の宮崎市

“らしさ”を  
更新しながら  
次の世代に残すまち

日々の暮らしの中に  
根付いた宮崎“らしさ”を、  
自然なかたちで次の世代に  
引き継いでいける環境

## いろいろな つながりを 育むまち

地縁や年齢だけにとらわれない  
新しい形で、  
市内外に住む人同士が、  
好きなことや共通点などから  
つながりを育む環境

100年後の宮崎市にとって、  
「現在」はミライの歴史となる。

その歴史を、今を生きる  
宮崎市に関わる“わたしたち”が紡いでいく

**みなさん、ご清聴ありがとうございました！**

**みやざきミライ史**

Miyazaki Future History 2024 - 2124